

# 平成27年度総会を開催

## 新支部長に松本健五さん就任

津山高校同窓会岡山県南支部の平成27年度総会を昨年10月25日、岡山市北区下石井のアークホテル岡山で開催。任期満了に伴う役員改選では草野功支部長（昭和31年卒）が退任し、後任には副支部長の松本健五さん（昭和45年卒）が選ばれました。

総会には約120人が出席。草野支部長の挨拶の後、同窓会本部の馬場茂副会長と今井校長に祝辞をいただき、校長からは昨年4月に併設開校された県立津山中学校の様子などが報告されました。平成25、26年度の事業報告案と収支決算報告案はいずれも原案通り承認されました。

松本新支部長が「平成の卒業生に参加を呼び掛けたい」と就任の抱負を述べ、若い世代の参加により活動を活性化していく方針を示しました。

この後、太田昇・真庭市長（昭和45年卒）が「『里山資本主義』真庭の挑戦」と題して記念講演。特産の木材など地域資源を生かした市政を意欲的に展開し、今や全国から注目を集める自治体の一つとなっている真庭市の現状、市政の方針について、分かりや

すい説明があり、好評を博しました。

懇親会では、この日の出席者で最高齢の太田陸奥雄さん（昭和15年卒）の音頭で幕を開け、同窓生同士が歓談し、時間を忘れて、楽しいひとときを過ごしました。

次回の総会・懇親会は来年秋の予定です。ぜひご出席ください。

支部長以外の新役員は次の通りです。（敬称略、かっこ内は卒業年。新任以外は再任）

副支部長 = 後藤正子（昭和42年）、土佐直樹（43年）、戸田豊（45年） = 新任、長森定好（50年） = 同 ▽代表幹事 = 片山淑雄（45年） ▽副代表幹事 = 神土純子（42年）、安東官（46年） ▽幹事 = 蜂谷弘紀（36年）、福田富男（40年）、永禮一平（46年）、岡田祥司（47年） = 新任、前田淑子（同） = 同、服部薰（49年）、井戸万寿三（51年）、沼元昇（52年） = 新任、田丸和彦（54年）、土井佳子（56年）、春木香里（同）、毛利元三（59年）、齊藤司幸（61年）、大野順子（同） = 新任 ▽会計 = 佐藤三平（46年）、岡利治（55年） ▽会計監査 = 富岡謙二（35年）、鷹取洋二（39年）



写真はいずれも平成27年度総会・懇親会





## 就任ごあいさつ

支部長 松本 健五

このたび津山高校同窓会県南支部長を拝命しました松本健五です。よろしくお願ひします。昭和45年卒業です。

最近、土日の休日に懐かしの津山高校を幾度か訪れたことがあります。校庭に入ると生徒が部活を中断し気持ちよく、そのたびに挨拶をしてくれました。それがすがすがしく、素晴らしいと感激し、母校であることを誇りに感じました。

また、卒業した時からすれば天文学的に日々は過ぎ、気づいてみれば、人生、マラソンに例えれば30kmは過ぎゴールを意識する年代になってしましました。今からでも遅くない、母校に少しでも恩返しするためにも、重職である支部長職を精一杯務めさせていただくなつもりです。

今からおよそ300年前に書かれた貝原益軒の晩年83歳の作品「養生訓」は今なお愛読者が多くおられます。益軒は徳川三代将軍家光の時代、福岡、黒田藩士の家に生まれました。長崎で医学、江戸で儒学を学んだ後、48年間三代の藩主に仕え業績を残しています。

晩年は執筆活動に専念し、老人の養生としては第八巻の養老に老後の過ごし方を説いています。

「老後は、若い時の十倍の速さで過ぎていく、一日を十日とし、十日を百日として楽しみ、むだに日

を暮らしてはいけない。いつも時を、日を惜しむべきである。心静かにし、残った月日を楽しみ、腹を立てず、欲を少なくして、生き残った体を養うべきである。老後はただの一日も楽しまずに過ごすのは惜しい。老後の一日は千金に値する。」

「養生訓」は人生の要諦を語っています。長く生きるのが目的でなく、長く生きることで人間を究め、社会に役立たねば意味がない。多忙だからこそ、厳しい時代だからこそ、改めて県南支部の発展に向けて力を尽くすことを皆様にお約束します。今後ともよろしくお願ひ致します。

まつもと・けんご。昭和45年卒。美作市・大原中学校出身。  
地方独立行政法人岡山市立総合医療センター理事長、  
岡山市立市民病院院長



県南支部の最新情報は  
ホームページ、フェイスブックで

県南支部のホームページでは、支部に関するニュース、同好会の活動状況などの最新情報が入手できます。ぜひアクセスしてください。アドレスは

<http://plus.harenet.ne.jp/~izayoi/> です。

「岡山県南支部」で検索してください。

また、書き込みは少ないですが、フェイスブックにも情報をお読みください。

「岡山県立津山高等学校同窓会岡山県南支部」です。ご活用をお願いします。



## 日々の暮らしに思うこと つれづれに

副支部長 後藤 正子



この頃、人々はとても忙しそうです。道行く人はスマホをし乍ら、電車の中でもスマホに熱中、ボーッと窓外の景色を眺めている人は少ないうるうと思います。そんなにスマホを覗いていなければならないのかしらと、不思議に思います。聞くところによれば、ラインは早く返事を送らなければ失礼になる。もしくは悪く思われる。また、ある人は暇だからスマホで色々見ているのだそうです。

ゲームもあり、それはそれで楽しいのでしょう。勿論仕事の上で不可欠の方もおられることでしょう。沢山の情報が入り、便利なことも解りますが、たまには車窓の景色を眺めるもよし、周りの人たちをそれとなく見ているのもいいのではと思いませんが、人それぞれですから…。

車窓の景色を眺めていると、空の色、季節の移ろいを教えてくれる田畠や山々、沢山の民家、庭先の木々、そこにはどんな人が暮らしているのか、どんな家庭が営まれているのだろうか、とさまざまに思い巡らしていると、時間の経つのも忘れてしまいます。

何年か前に聴いた演奏会で、2人のピアニストがコンチェルトを弾いたのですが、1人はドイツ人、もう1人は日本人でした。どちらもショパンコンクールで入賞したピアニストです。2人のピアニストを同じ指揮者、同じオーケストラで聴き、どちらも素晴らしい演奏でした。けれども2人の音楽に大きな違いを感じました。片やヨーロッパで、片や日本で育った人です。それぞれ風も風景も街も人々の暮らしどりも大きく異なります。

同じ楽器で音楽を表現してもこんなに感性の差を感じるのは、その人の育ってきた環境によるのかな、と思いました。人の感性は、生まれ持った個性に加えて、その人の育った環境に影響されるところも大きいのではと思います。感性の違いがあってこそ、魅力を感じあい、尊敬しあい、時にはぶつかることもあるでしょうが、互いに学びあえるのでしょうか。

ある作曲家が「目をつぶって5分間耳をすましてごらんなさい。いろいろな声が聞こえますよ」と教えてくださいました。たまに庭に立ち、そうしてみます。すると、道を走り去る車の音、近所の人の話し声、飛行機の飛ぶ音、一番好ましいのは小鳥のさえずりと木の葉のそよぐ音。本当にさまざまな声が聞こえます。そして目を開けて空を見上げると清々しさと、孤独を感じます。

人は誰しも孤独な側面を持ちます。他人に自分の深部を理解してもらうのは簡単なことではないから、とある本に書かれていました。でも孤独を感じる刻があるからこそ、自然の美しさ、やさしさ、そして周りの人たちの温かさを感じることができるのではないかでしょうか。孤独は素敵な感性の泉です。

4歳と6歳の孫が時々「ありがとう、だいすきだよ」と手紙をくれます。拙い字ですが、なんと温かいこと！ この子たちが豊かな知識と感性の持ち主に育ってくれることを願っています。

おわりに、世の中が、自然も社会も穏やかでやさしい環境でありますように、切に願います。

（ごとう・まさこ。昭和42年卒。  
旧姓・西下。津山市・北中学校出身）



## 「欣喜雀躍」

副支部長 戸田 豊

手許に「小沢征爾氏 グラミー賞受賞」の新聞記事がある。寄稿の責を果たす為、私の人生最大の自慢話（？）を披露することをお許し下さい。

30年も前の話……私は中国銀行本店に勤務していました。ある時、某協会の周年イベントとして、岡山市民会館で小沢征爾指揮・新日本フィルハーモニー交響楽団のコンサートが開催され、私は音楽好きということで、事務方の手伝いに派遣されておりました。

すると終演直後、協会役員の方から「小沢さんが中国銀行本店の裏あたりにある成田家とかいう料理屋で、昔の同僚と待ち合わせておられる。貴君は近所で良くご存知でしょうから、ご案内してあげて下さい」。

一瞬躊躇ましたが、私は欣喜雀躍しました。更に案内する道々「以前長期研修でニューヨークに滞在していた際、あなたの指揮するボストンシンフォニーを聴きました」と言うと、俄然喜んで下さり、案内を終えて帰ろうとする私に「あなたも一緒に呑みましょう」と誘って下さったうえ、部屋に先回りしていた数人の人達に紹介までして下さるではありませんか！

同席の人とは元NHK交響楽団首席ホルンの千葉馨さんをはじめ、先刻まで舞台上に居た国内に名だたる演奏家の方々なのです。

（以下、当時の興奮が蘇り、ペンの動きが止まらぬ為、紙幅の都合で省略します）  
その飾らない人柄に私が熱烈なファンになったの

は言うまでもありませんし、今から6年前の2月という全く同時期に、全く同じ食道癌を患ったことも、私にとっては自慢ですらあるのです。

私が偶々クラシック音楽を好きになり、前述の様な奇跡的な経験が出来たのも、契機は津山高校に入学し、A君と知り合ったことにあります。

彼の父上は美術、母上は音楽の先生というハイカラな家庭でした。応接間のステレオで初めて聴かせてもらったベートーヴェンの悲愴ソナタが、何故だか解りませんが、それまで音楽など何の縁もなかつた田舎の少年の胸を激しく打ったのです。

以来、音楽は私の心の糧になってしまいました。

年金受給世代になった今、今後の人生のブレ幅は大きくありませんが、あの頃なら選択肢は広かつたなあと、旧友の顔が浮かんで来ます。

今さら來し方を反省しても始まりませんが、あの頃A君と巡り合ってなかったら、又当時津山にあつた作陽音大の若い先生と知り合ってなかったらと顧みれば、人生の岐路では結構偶然が左右していたなあと、感慨にふけっています。

せめて残余の人生は、少しでも世間様の役に立つ様なことでもしてみるか？ やっぱり人生の終楽章は穏やかな長調がいいなあ……そうですよネ、小沢さん！

（とだ・ゆたか。昭和45年卒。  
新見市・熊谷中学校出身。中銀保証株式会社社長）

# イラストレーター森本美由紀さん回顧展

29期 長瀧 恵子

ファッション誌で活躍し、3年前54歳で急逝した森本美由紀さん（29期。昭和53年卒）の回顧展が2月10日～3月21日まで、岡山市の岡山県立美術館にて開催されました。たくさんの作品が展示された会場では、彼女が手掛けたCDジャケット「ピチカート・ファイヴ」の曲が流れ、男女問わず幅広い年代の人が、魅入っていました。



森本さんの作品

彼女は津山高校卒業後、上京し、セツ・モードセミナーで学び、「mcシスター」「ヴォーグ・ジャパン」等のファッション誌、映画、音楽、そして海外にも活躍の場を広げた、日本を代表するイラストレーターでした。

作品を観た殆ど的人が「森本美由紀という名前は知らないけれども、どこかで作品を目にしていた事がある」と言います。津山高校同級生の中でも彼女の活躍を知っていた人は、数少ないと思われます。

私の記憶では、高校時代の彼女は飘々とした印象で、津高生には珍しく、長いスカートにペッタンコの学生鞄、朝の点呼で名前を呼ばれるギリギリに教室に駆け込んでいた事が思い出されます。

高校時代の彼女の部屋は、海外のレコードやおしゃれな外国雑誌が並べられ、私の知らない世界がそこにありました。学校での印象とは、あまりにも違う一面に衝撃を受けた記憶があります。豊かな感性は、当時からしっかり育っていたのだと思います。画が抜群に上手く、彼女から届いた暑中見舞い、年賀状は、今でも私の一番のお宝として大切に保管しています。

作品は、ポップでカラフルなペン画から代表的な墨画等、幅広い画風。無駄のないシンプルな線で迷いなく描く、スタイリッシュな世界。彼女が描く女性達は主体性を持ち、愛に包まれ、幸せが伝わって



長瀧さんのお宝  
森本さんからの年賀状

きます。かっこいい、かわいい、誰もが憧れる素敵な女性です。回顧展に行った友人に「どれが一番好き？」と聞くと一番はみんな違います。それぞれの憧れが生き生きと表現されています。

彼女と最後に会ったのは、30年前の夏。イラストの仕事が増え、希望に満ちた時期でした。その後、残念ながら彼女と会う機会はなく、回顧展で多くの作品や書籍に触れ、彼女の偉業に驚かされました。

彼女と一緒に仕事をされていた関係者の人達から話を聞くと「どれが原画かわからないくらい何枚も同じ画がアトリエにあった。ひたすら描き続けていた」との事。高校卒業後、早くから脚光を浴びていた彼女ですが、プロとしてストイックに努力を続けてきた彼女の人生に胸が熱くなります。

2011年、東北の震災では、彼女も大変心を痛め、その頃からおしゃれな画より、自然の風景に心を寄せていたとも聞きました。豊かな感性を通して描く自然はどんな世界だったのか。彼女の風景画も観たいです。



回顧展会場で行われたギャラリートーク

今回、彼女の回顧展を通じて高校時代の懐かしい友人と何十年振りかの再会に恵まれた事にも大変感謝しています。

近い将来、彼女の回顧展が再び岡山の地で開催され、郷土出身のイラストレーター森本美由紀さんが素晴らしい作品を遺している事を同窓会の皆様方を始め、多くの人々に伝わる事を願っています。

（ながたき・けいこ。旧姓：川端。昭和53年卒。鏡野町・）  
（鏡野中学校出身。株式会社NTTマーケティングアクト）



故・森本美由紀さん

# 活躍する県南支部会員

## 税理士 齊藤 司幸さん

現在、私は地元の税理士法人石井会計（岡山市南区新保）で仕事をさせて頂いております。税理士を目指したのは銀行員時代の20年前、当時はあまり将来の事は考えず、なんとなく税理士を目指して日々勉強しておりました。

本気で目指すきっかけは、私がお客様に提案した事は、最後には「税理士の先生に相談してみる」との返事がかえってくるのです。その時、お客様の眞の相談相手はお客様の顧問をされている税理士であって、銀行員である私ではないことに気付いたからです。

今、税理士をさせて頂いている事は、ほんとうに幸運だと感じております。それは、地元中堅・中小企業経営者の方々のパートナーとして、経営の助言や相談に応えていかなければならない責任ある仕事であり、そして、喜んで頂けた時には最高の喜びを感じる仕事だからです。

最も印象に残っている仕事は、地元で多角経営をされている企業の再生事案です。高度な税務知識を駆使し再生計画の実行支援を致しました。税負担を最小限度に留めながら組織の再構築、グループ企業

の再編や統合を行い、新しい経営体制を整えました。そして、5年後再生する事ができ苦労しましたがとても充実した仕事でした。

これからはさらに地元のお客様にもっと喜んで頂けるように、経営状況をわかりやすくスピーディーに伝えていく技術と、頼りにされ信頼されるようにさらに入間性を高め、社員全員が自分の持ち場での責任を果たしていく会社組織にしていきたいと思っております。

そのために、会社の経営理念である「お客様・社員・社会の三方良し」の経営を実践していきたいです。

（さいとう・もりゆき。昭和61年卒。津山市・勝北中学校出身）



## 岡山情報文化研究所上席研究員 神田 将志さん

同窓生のみなさま、恩師のみなさま、ご無沙汰いたしております。

私は、在学中から広告の仕事がやりたいと考えていました。そして大学時代に広告よりもう一つ上の「マーケティング」という概念の魅力にはまり、マーケティングを生業としたく岡山の広告・出版会社に就職をいたしました。現在その会社で市場調査やマーケティング企画立案を担う、岡山情報文化研究所というシンクタンクで調査やマーケティング・プランニングの仕事をやっています。

現在は主に自治体の調査事業や、大学、一般企業からの市場調査をお手伝いさせていただいています。岡山の地でのマーケティング、市場調査はまだまだ決して成熟したものではありません。マーケティングという業務の捉え方も曖昧です。調査にお金をかけるよりも、いち早くアイデアを商品にしてしまいたいという経営者の方々が多い、そんな感もあります。

その結果、商品はできたものの、売れないで売れる方法を考えてほしいという相談を受けることになります。先走って商品を作ってしまう前に、簡単で良いのでニーズの下調べ、市場調査をお勧めしています。

そんな手軽な市場調査実現のために、岡山の生活者のパネルサーベイ（インターネットを利用したモニター会員によるアンケートシステム）も独自に開発しました。

金曜日の夕方に配信しておけば、月曜日の朝には調査結果がグラフ化されるというもので、スピードとコストが魅力で自治体や企業で活用をいただいているです。

大学時代にマーケティングを座学・実務両面から教えていただいた恩師とは、今でも一緒に調査の企画を立てたり、一緒にプレゼンテーションに参加していただいたり、また時には激しく議論を交わしたりしながら、マーケティング道を極めている日々です。マーケティングの力で岡山を活性化させたい。そんな思いで今日も、得意先の課題解決に臨んでいます。

（かんだ・まさし。昭和62年卒。津山市・東中学校出身）



## いきいき 同窓生

### ブランド戦略コンサルタント 石原 浩巳 さん

昭和63年39期、昭和最後の卒業生です。現在は岡山市内在住で、企業（おもに中小企業）に向けた伴走型支援を、コンサルタント、研修講師、プロジェクトマネージャーとして行っています。岡山市内の地の利をフルに活用し、中四国を中心に、現時点では沖縄、北海道、東北を除く国内全域が活動エリアで、人生同様生活も「旅人」です。

津山高校在籍時代は、「好奇心」を思う存分養わせていただいたように思えます。模範生とは真逆の生徒だったと記憶していて、比較的お気楽に過ごし、厳しく指導を仰ぐことも多々あったと思いますが、卒業後30年近く経った今、このような機会をいただき、当時振り返ってみると、不思議なものでこんな私でも「努力したこと」「苦悩したこと」ばかりが思い出されるのです。

もちろん楽しい思い出もたくさんあるのですが、46歳になった今でも何かに挑み続ける日々を楽しむことができるは、「小さな苦悩」を乗り越えようとした「小さな努力」「小さな成功体験」があったからではないかと。

私の毎日は小さな課題解決の積み重ねでできてい

るといつても過言ではありません。特に企業支援の業務においては、「答えのない問題」をどうやって解いていくのかが全てのカギです。学生時代にひっそりと培った「思考する楽しみ」と、思う存分養った「好奇心」が今の私の行動特性や価値観を形成しているように思えてなりません。

まだ道半ば、あの頃の経験と今後の経験の積み重ねで、また「新しい何か」に変貌を遂げることを期待しながら、一刹那ごとに後悔のない時間を過ごし、そしてそれが何かしらの形で社会への貢献に繋がれば、この「旅人」のような人生にも意味があるのかな、などと…。

精進いたします。

いしはら・ひろみ。昭和63年卒。津山市・西中学校出身。  
シンクフィールズ代表、独立行政法人中小企業基盤整備  
機構四国本部・チーフアドバイザー



### テレビせとうち報道制作部記者 有國 由花 さん

山陽新聞社で記者として働いていますが、社内でも数少ないと思われるのが2度の出向です。2010年度の1年間、岡山大学との人事交流第1号として広報担当として勤務。2014年2月からはテレビせとうちに出向しています。

同じマスコミでも、新聞とテレビには、さまざまな違いがあります。新聞は、活字として残り、繰り返し読めるため、端的な文章が求められます。

一方、テレビは「百聞は一見に如かず」と言うだけあって、視覚的な情報量が多いのですが、視聴者にとって“流れていく”もの。関心を引き付け、内



容がスムーズに理解できるような工夫が重要です。当然、取材方法やその後の業務の流れも異なり、一から勉強の毎日です。

しかし、カメラマンと協力して仕上げることによる相乗効果や、生の表情や声をそのまま伝えられ、字幕スーパーや音楽などを駆使できる表現の幅の広さは魅力的で、学びがいは十分。引き出しを増やし、この経験を新聞社に戻って生かしたいと思っています。

実はこうした出向中、山陽新聞の人からよく「楽しそう」と声を掛けられます。人間関係をゼロから築き、不慣れな仕事に臨むのは精神的・体力的にかなりきついです。それでも、全て新鮮で楽しく、貴重な経験だと思えるのは、「地元の良さを、地元の人に知ってもらい、郷土に誇りを持ってもらえるお手伝いがしたい」という気持ちがあるから。そして、これは職場や仕事を選びません。今、津山圏域を離れ、県南でご活躍されているみなさまとも共通するのではと想像しております。

これからも、岡山県（できれば特に県北地域）の動きを広くお伝えすることで、微力ながら地域の魅力づくりや活性化を応援できればと思っております。

良いネタがありましたら、いつでもお寄せください！  
(ありくに・ゆか。平成4年卒。勝央町・勝央中学校出身)

# 「ビアパーティー2016」を9月10日開催 奮ってご参加を

会員の親睦を深める「ビアパーティー2016」を9月10日(土)午後6時から、岡山市北区下石井2-6-1のアークホテル岡山・1階レストラン「ラ・ペーシュ」を貸し切って開催します。奮ってご参加ください。

気軽に若い人に出席してもらうため、今回の参加費は平成年代卒業生は半額、現役の大学院生・大学生・短大生・専門学校生は無料とします。昭和年代卒業生は男性4,000円、女性3,500円、平成年代卒業生は男女とも2,000円です。

冷たいビールを飲んで夏の疲れを癒やすとともに、作州津山や母校の話で大いに盛り上がり

ましょう。黒生ビールやスパークリングワインも飲み放題です。作州の銘酒も用意します。

同窓会は異業種交流の場でもあります。人脈を広げ、ビジネスチャンスもつかんでください。

参加希望者は会報に同封している出席返信はがきを8月31日までに支部事務局へ送ってください。欠席の方のご返事は不要です。



## 同好会の紹介

県南支部には6つの同好会があります。和気あいあいと活動をしています。ぜひ、気軽にご参加ください。例会案内です。



### 十六夜絵画クラブ

毎月1回、岡山市北区下伊福西町の岡西公民館を中心に例会を開催。作品発表会も年1回開いています。問い合わせは筆保博文さん（電話086-279-7262）



### いざよいゴルフクラブ

年に数回、県内のゴルフ場で自慢の腕を競っています。問い合わせは鳥居節子さん（090-7977-8460）



### いざよい社交ダンス同好会

毎月第2・第4火曜日の午後1時半から、岡山市北区表町3丁目の「ソシアルダンススタジオ カリヨン」で例会を開いています。問い合わせは大塚利子さん（電話0863-51-2348）



### カラオケ同好会

毎月最終水曜日の午前11時から、岡山市北区田町の「カラオケパンパン」で例会を開いています。問い合わせは皆木浩二さん（電話086-292-0626）



### 釣り同好会

年に1回程度、瀬戸内海を中心に釣行を実施しています。問い合わせは福田富男さん（電話0869-34-4590）



### 歩こう会

健康づくりのため、無理のない範囲で歩こうというのが趣旨です。ここ数年、例会を開催できていませんが、ご興味のある方は蜂谷弘紀さん（電話086-284-2583）まで、ご連絡を。

## 支部年会費ご納入のお願い

- 県南支部の活動は年会費（2,000円）によって支えられています。
- 年会費は会報「県南クラブ」の印刷・発送費のほか、会員の相互親睦を図る活動に充てられます。
- 納入は任意です。趣旨に賛同いただける方は会報と一緒にお送りしております郵便振込用紙で、ご納入をお願いいたします。

岡山県立津山高等学校同窓会岡山県南支部

会報「県南クラブ」第22号

2016年7月28日発行

発行人 松本健五 編集人 片山淑雄

発行所 岡山県立津山高等学校同窓会岡山県南支部

〒701-0205

岡山市南区妹尾1120-25 片山淑雄気付

TEL. 090-4801-6483

URL <http://plus.haren.net.jp/~izayoi/>

第22号

# 津山高校 県南クラブ



## 田村皮膚科・泌尿器科医院

医学博士 田村 誠一郎  
(昭和19年卒)

〒700-0823 岡山市北区丸の内2丁目12番8号  
TEL (086) 222-4868 FAX (086) 222-4860



小野温子  
(昭和28年卒)

表町本店 Sunami ● TEL (086) 231-2455

## カイロプラクティック 行成治療院

院長 松下行成

〒711-0933 倉敷市児島通生890-7  
TEL (086) 474-6785

黒明 東洋治 (昭和33年卒)

外科・内科・消化器内科・整形外科・肛門科

医療法人 芳貴会



院長 江原 芳男 (昭和36年卒)

副院長 江原 弘貴

〒701-1342 岡山市北区加茂15-3  
TEL (086) 287-3300 FAX (086) 287-3301

## ATアクト設備株式会社

代表取締役 保住 長男 (昭和38年卒)

本社 / 〒703-8221 岡山市中区長岡468番地1  
TEL (086) 279-7677 FAX (086) 279-7887  
津山出張所 / 〒708-0052 津山市田町119番地11  
TEL (0868) 22-8505 FAX (0868) 22-8506

◆空気調和設備・販売・設計・施工・管理◆ビル設備組合メンテナンス  
◆赤水・鏡、スケールの除去と防錆装置・設計・施工  
◆建設業許可岡山県知事許可(般19)第15201号  
管工事業・電気工事業・消防施設工事業

## 岡山二人クリニック



林 伸旨  
(昭和42年卒)

〒701-1152 岡山市北区津高285番地  
TEL (086) 256-7717 FAX (086) 256-7667

もう一度“青春”を始めませんか!! /

## いざよい社交ダンス同好会 会員募集中

練習日時：毎月第2火曜日、第4火曜日

13:30~16:00

場 所：表町商店街

「ソシアルダンススタジオ カリヨン」

連絡先：大塚利子 (昭和33年卒) TEL (0863) 51-2348  
福田富男 (昭和40年卒) E-mail : fkdt@mx1.tiki.ne.jp

## 放射線の世界へようこそ

-福島第一原発事故も含めて-

安東 醇 著

(昭和29年卒)

通商産業研究社 発行

定価 本体 1,600円+税

## 津山高校県南同窓会・絵画クラブ

洋画家 福島 隆壽

(昭和25年卒)

光風会名誉会員・岡山支部代表  
日展会員・審査員・岡山日展会長  
岡山県展審査員

〒710-0013 倉敷市中帶江833-48  
TEL (086) 425-9187

## 福島内科医院

サービス付高齢者向け住宅 ケアホーム静和

理事長 草野 功

(昭和31年卒)

〒700-0027 岡山市北区清心町3番18号  
TEL (086) 255-1281 FAX (086) 255-1388

人を敬い 人を愛する

KI 株式会社 敬愛

代表取締役 華山 和彦

(昭和35年卒)

〒700-0904 岡山市北区柳町一丁目3番5号 金光ビル2F  
TEL (086) 231-1313 FAX (086) 227-3010  
URL : <http://www.keiai21.com> E-mail : hanayama@keiai21.com

## 糖尿病

ご不安をおもちの方のご来院を心よりお待ち申し上げております

糖尿病 専門医 岡田 奏二 (昭和37年卒)

## 岡田メディカルクリニック

岡山市北区伊福町3-5-4

TEL 086-255-2345

## なかやまクリニック

循環器科・内科・外科  
特定健診

中山 賴和

(昭和42年卒)

〒701-0211 岡山市南区東畦112-38  
TEL (086) 282-4199

## 十六夜絵画クラブ

後藤 正子

(昭和42年卒)

土佐直樹

(昭和43年卒)

片山 淑雄

(昭和45年卒)

第22号

# 津山高校 県南クラブ



戸田 豊

(昭和45年卒)

地方独立行政法人  
岡山市立総合医療センター理事長  
岡山市立市民病院院長

松本 健五

(昭和45年卒)

元気を創る

岡山県経営コンサルタント事業協同組合

特別顧問 安東 官 (昭和46年卒)

〒700-8556 岡山市北区厚生町3-1-15  
岡山商工会議所816号室  
TEL(086)225-0770

水と取り組む・実績と信用  
上下水道用資材総合取扱店・上下水道設計施工

株式会社 佐藤管材工業

代表取締役 佐藤 三平 (昭和46年卒)

〒701-0165 岡山市北区大内田830-2  
TEL(086)292-5311代 FAX(086)292-5188

 有機会社 システムフロンティア

代表取締役 水禮 一平  
(昭和46年卒)

〒700-0942 岡山市南区豊成2丁目7番16号  
TEL(086)264-0326 FAX(086)264-0326  
E-mail : nagare@s-frontier.co.jp  
URL : http://www.s-frontier.co.jp/

\*相続税・贈与税・譲渡所得の申告や相続対策は  
岡部正晴税理士事務所

税理士 岡部 正晴  
(昭和48年卒)

〒710-1102 倉敷市茶屋町早津325  
携帯 090-6436-5327  
TEL(086)436-8662 FAX(086)428-0532  
E-mail : okabe01114@yahoo.co.jp

光成法律事務所

弁護士 光成 卓明  
(昭和48年卒)

〒700-0816 岡山市北区富田町1-3-15 グランデール2階  
TEL(086)224-2809 FAX(086)224-2819

 本と空気を管理する  
山陽技研株式会社

代表取締役社長 井上 沙緒 (昭和53年卒)  
空気調和・給排水衛生設備工事 設計施工  
設備設計一級建築士事務所

本 社 / 〒700-0941 岡山市北区青江4丁目8番1号  
TEL 086-231-0248 FAX 086-224-4765  
http://www.sanyo-giken.co.jp  
倉敷営業所 / 倉敷市北歛2丁目17番27号

(株) オーノ  
児童デイサービス・放課後等デイサービス  
くるくるめらん島・かるづ村・もりもりめらん庵  
日中一時支援 まーぶるの森  
特定相談支援・障害児相談支援  
保育所等訪問支援

(医) 大野はぐくみクリニック (旧 大野小児科医院)  
(株) オーノ代表取締役 / (医) 大野はぐくみクリニック 理事  
大野 順子 (昭和61年卒・旧姓 只友)  
〒700-0026 岡山市北区泰道町1-2-11  
TEL(086)254-7777  
melonjima.net o-hagukumi.net

税理士法人 石井会計

代表社員 税理士  
齊藤 司幸 (昭和61年卒)

〒700-0945 岡山市南区新保1107-2  
TEL(086)201-1211 FAX(086)201-1215  
URL : http://www.ishii-cpa.com  
E-mail : ishiicpa@mx4.et.tiki.ne.jp

岡山県北のニュースをまとめて読むなら…

津山朝日新聞

月刊

タブロイド16面 年12回発行 3,600円から(税込・送料込)

購読のお問合せ 株式会社 津山朝日新聞社 TEL.0868-22-3135 FAX.0868-24-3184

今号の発行に際しましては、米戸金男様(昭和29年卒)、筆保博文様(昭和34年卒)、蜂谷弘紀様(昭和36年卒)、鷹取洋二様(昭和39年卒)、神土純子様(昭和42年卒)からもご芳賀を賜りました。ありがとうございます。

“広告協力者”を募っています

「広告への協力はさせていただくが、名刺広告までは…」と言われる方を対象に、お名前だけを紹介させていただく“広告協力者”という制度を設けています。ご芳賀は一口5,000円とさせていただいております。来年の第23号でご協力が可能な方は支部事務局へご連絡ください。

支部事務局より

誌面の都合で、今号は昨年10月の支部総会で承認を受けた平成25、26年度の収支決算報告が掲載できていません。概要を報告します。25年度の収入は約250万円、支出は約160万円で、26年度への繰り越しは約90万円。26年度の収入は約180万円、支出は約70万円で、27年度への繰り越しは約110万円です。支部ホームページに収支一覧をアップしています。

また、27年度は収入が約300万円、支出は約180万円で、28年度への繰り越しは121万円余となっており、健全財政を維持できています。

会報は同窓会本部に登録してある住所を基に送付しています。住所変更など、支部にご連絡がある方はビアパーティーの出席返事用はがきに用件を記入しお送りください。